

令和6年度 美濃市教育委員会 議事録

- ・日 時 令和6年7月24日（水） 13:00 ～
- ・場 所 美濃市教育委員会 中会議室
- ・出席者 教育委員会会議委員

【教育長】

- ・議事第11号「岐阜県教科用図書（美濃地区）の採択について」を議題とします。教科書に関する議題は、8月31日まで公開できない内容ですので、非公開の会議とさせていただきます。
- ・では、事務局から説明をお願いします。

【学校教育課長】

- ・7月10日、12日に令和6年度美濃地区教協図書採択協議会が行われました。今年度は、小学校の教科書に採択替えがなく、中学校の教科書を採択替えする年になっております。中学校に関わって協議の結果を報告させていただきます。お手元の教科書をご覧くださいながらお聞きください。

○国語は、「光村図書」です。

- ・「読むという学習活動」が提示されており、この教材の出口の言語活動がわかりやすくなっています。また、この教材で身に付けたい資質・能力を「目標」として提示されており、授業を通して何を学習するかということが、生徒にわかりやすくなるよう、大変よく配慮されています。
- ・小中高で学習する古典のつながりが視覚化されており、古典に親しむ工夫がされています。さらに「広がる読書」が、教材ごとに位置付けられており、生徒が国語の学習を通して興味・関心をもったことを広げていく工夫が大変よく配慮されています。
- ・学習後の「振り返る」には、どの資質・能力について振り返るのかわかりやすく表示されています。さらに、教科書内に出てくる「主な記号など」の説明や教科書に出てくる書体についてもわかりやすく説明され大変よく配慮されています。
- ・一人一人の学びに寄り添い、可能性を広げるために生徒が個別最適な学びができる二次元コードのコンテンツが教科書に位置付けられています。デジタル端末上で解答できる練習問題があり、教材のポイントを短時間で押さえられ、授業の導入や家庭学習でも活用できるようになっているなど生徒の個別最適な学びができるように大変よく配慮されています。

○書写は、「東京書籍」です。

- ・1年生「身に付ける」2年生「使い分ける」3年生「使いこなす」として、それぞれの学年の最終的にめざすことがキーワード化されています。そのめざすことに迫るために、前学年と現在の学年の学びが連続し、生徒の思考が結びつきやすいように工夫されています。
- ・国語はもちろん総合的な学習の時間や学活「キャリア教育」など教科横断的な視点が十分に組み込まれているものであり、よく考慮されています。
- ・単元には、「目標」と「振り返ろう」を設定し、生徒自身が学習のねらいを意識し、何を身に付けたの

かを振り返ったり、目標に対する自己評価を行ったりすることができるようにしています。「振り返ろう」では、文字を整えて書くための汎用的なポイントをまとめた「書写のかぎ」のキーワードを使って、自分の言葉で説明することができるようにたいへん配慮されています。

- ・学年ごとに学んだことを振り返り、身に付けた知識及び技能の定着を図ることができるようよく配慮されています。

- ・ご意見はございますか。

【教育委員】

- ・小学校では水で書いて練習するページががりましたが、中学校はどうですか。

【学校教育課長】

- ・中学校ではないです。

【教育委員】

- ・書き順が分からない子が多くなっています。その部分ができるようになるといいです。

【学校教育課長】

- ・書き順については、小学校1年生から繰り返し指導する必要があります。
- ・東京書籍は美濃和紙も紹介されています。左利きの子についても配慮されています。

【教育委員】

- ・実社会につながるということや目的に応じてということがイメージしやすいです。

【学校教育課長】

- ・校外で学習する機会が多くなってきています。企業の方に、手紙や依頼を書く機会も多くなってきています。

【教育委員】

- ・すべての学年で毛筆をやっているのですね。

【学校教育課長】

- ・すべての学年で毛筆を行っています。

○社会科（地理的分野）は、「東京書籍」です。

- ・単位時間ごとの見開きにおいて虫眼鏡のマークを用い、「場所」「結びつき」を示すとともに鉛筆マークを用いて、見方・考え方を働かせどのように読み取るとよいかを促すよう大変よく配慮されています。
- ・全編をとおして、138個の二次元コードが付され、映像資料やワークシート、統計資料など、多種多様なコンテンツが準備されており、生徒の主体的な学びが促されるよう配慮されています。
- ・単元後のまとめの活動では、単元の探究課題を軸にしながら、三観点を明示した振り返りや「みんなでチャレンジ」にあるような、仲間と一緒に考えたり、個で学びを進めたりするような問いがバランスよく配置され、主体的・対話的で深い学びを促すために大変よく配慮されています。

○社会科（歴史的分野）は、「東京書籍」です。

- ・主体的に学ぶ姿を生み出すために、各章の導入では、時代の特徴を小学校の学習とつながりをもたせながらつかませるような工夫がなされています。また、各章で追究していきたい「探究課題」を示すと

もに、各節においても解決したい課題を「探究のステップ」として問いを設定しています。

- ・教科書内でルーペや鉛筆のマークで示されているところがそれにあたりますが、ルーペマークは見方・考え方に関わる視点を、鉛筆マークは資料を読み取る着眼点を示しています。それにより、第1章で示された「見方・考え方」が、各章・各節で働かせることができるようになっていきます。
- ・個別最適な学習と協働的な学習を進めるために、各章の導入及び単位時間の中で、「みんなでチャレンジ」というコーナーが36か所、設けられています。また、基礎的・基本的な技能を活用して活動する「えんぴつマーク」のコーナーは、102か所、設けられています。ここでは、課題を追究していく際に、個人として考えをもつ視点を提示したり、仲間とともに話し合うテーマ等について、具体的に示したりしています。このことによって、対話的な学びを通して自己の考えを広げたり深めたりすることができるようになっていきます。

○社会科（公民的分野）は「東京書籍」です。

- ・知識及び技能を整理するページとして「確かめよう」があります。このページには、この章で学習した重要語句が40個示され充実しています。その重要語句を図の空欄に書き込むことで知識及び技能を整理できるようになっているとともに、章の全体像としてまとめられるようになっており、よく配慮されています。
- ・生徒が思考・判断・表現の力を身に付けるために「深めよう」が2ページにわたってあります。章の導入で示された3枚のカードについて、日本国憲法を根拠に考えをまとめるようになっています。また、「みんなでチャレンジ」のコーナーで示されているように、個人追究の場と協働的に活動する場が設定されているなど大変よく配慮されています。
- ・主体的な学びのページとして「振り返ろう」があります。ここでは、章の導入で示されたカードを使い、カード1とカード4を比較し、カードのどちらの事例がよいか、カードを選択して理由を考えたり、カード5や8の事例について、「誰のどのような権利」という視点で考えたりするなど、生徒が取り組みやすく、どの生徒でも一人で学び進められる内容となっており、主体的な学びとなるように、大変よく配慮されています。

○社会科（地図）は「帝国書院」です。

- ・索引の頭文字が探しやすかったこと、文字のポイントが大きいことから、地名を早く調べる配慮がされています。
 - ・索引に掲載されている地名数は、日本の地名2573、世界の地名1810となっています。
 - ・帝国書院では、「中部縦貫道」の高速道路、インターチェンジが「中部地方」の地図に記されています。統計資料をみると、2022年、2023年の全体の資料に占める割合は、帝国書院が26%であり、新しい情報を多く掲載しています。
 - ・地図、資料等が学習に十分な量と新しい情報が掲載されており、地図帳の基本的な使い方、地図からさまざまな情報を読み取り、それを活用する力を育むためによく配慮されています。
- ・社会の教科書について何かご意見はありますか。

【教育委員】

- ・社会の資料集というのは教科書とは別に購入するのですか。

【学校教育課長】

- ・資料集は各学校の副読本になります。必要があれば購入するというものです。

【教育委員】

- ・東京書籍は、資料が豊富です。現実的に生徒がそこまで扱えるのかということも思います。

【学校教育課長】

- ・市内の社会科の授業を参観すると、導入において教師が「今日はこのことを解決する」という大きな課題を提示し、そのことを解決するために必要な資料を生徒が選択しながら課題解決をするという展開がされます。東京書籍のように、教科書に資料が豊富であると、生徒が選択する幅が広がります。資料集を購入することなく、教科書をしっかり活用していけばよいと考えます。

【教育委員】

- ・そういった授業をするためには、東京書籍がより有効であると考えられます。

○数学は「東京書籍」です。

- ・単位時間の構成を、「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する（自分でかんがえてみよう→友だちの考えを知ろう→話し合ってみよう）→振り返る→深める」とし、教科書の冒頭で示しています。また、生徒自身で学習が進められるよう、二次元コードから図の意味を補完するシミュレーションが見られるようにしています。
- ・問題を示した後は、まず「わかることを書き出してみましょう。」と生徒自身に考えさせる問いがなされています。その後、キャラクターの吹き出しで「何がいえればよいかな」と生徒自らに見通しをもたせる記述がなされています。二次元コードからは、自分の考えや仲間の考えを記述することができるワークシートや証明を組み立てることができるツールを使用することができるようになっています。
- ・二次元コードからは、シミュレーションで実際に図を動かして考えることができるようになっています。最後には「振り返って新たなことがらを見いだす」という大切にしたい見方・考え方が示してあります。このような生徒の学習が、主体的・対話的で深い学びとなるようよく配慮されています。

○理科は「東京書籍」です。

- ・探究の流れを追いやすくなっていること、見方・考え方の観点をキャラクターのセリフとして掲載されていることなど、深い学びにつながるように、よく配慮がされています。
- ・考えを深める場面を取り扱う紙面では、異なった考えを持っている生徒が、それぞれの意見を発表しているイラストが掲載され、個別最適な学びと協働的な学びが具体的に示されています。
- ・片開き1ページに、「目的→実験の方法」という流れが端的にまとめられ、記入欄も設けられています。結果の表を記入する欄が設けてあり、グラフや考察の記入は、各自のノートに記入するなど、個々で工夫できるよう配慮されています。
- ・課題に対する結論は、「自分の言葉でまとめよう」という表記になっており、そこには明記されていません。結論の例は、教科書の巻末に全章がまとめて記載されています。まず、生徒が学んだことをもとに自分の言葉で表現します。その後に巻末の例と比べ、自身で考えて内容を修正する学習ができます。また、結論を書くことが苦手な生徒は、巻末の例を参考にして結論の書き方を学習することができます。

す。このように個々に合った学習が、即ち個別最適な学習が進められるように、よく配慮されています。

○音楽（音楽一般）は「教育芸術社」です。

- ・「音楽を形づくっている要素」の表記は、すべての教材において位置付けられ、「音楽を形づくっている要素」の働きに着目して、系統的・発展的に関連付けて学ぶことができます。
- ・各学年に「マイヴォイス」が配置され、学年に応じて発展的に歌唱技能が習得できるようになっています。
- ・どの学年にも40個以上の二次元コードがあります。この二次元コードを学習に役立つコンテンツとして「動画」「音源」「創作ツール」「文章、ワークシート」という4つのアイコンで種別し、位置付けられています。二次元コードを読み取ると、「男声」と「女声」の2種類の演奏が視聴でき、個別最適な学びが可能になります。また、普段の生活の中にあるさまざまな音が音源として収録されており、生活の中の音に耳を傾ける学習活動が可能です。
- ・創作領域における二次元コードには創作に関わるツールとワークシートが位置付けられています。その創作ツールでは、タブレット上で音符を動かして創作することができ、さらに音で確かめることができます。記譜が難しい生徒でも抵抗なく音楽づくりをすることが可能です。生徒が見通しをもって学習を進めることができるように配慮されています。

○音楽（器楽合奏）は「教育芸術社」です。

- ・全25曲掲載しています。そのうち、「箏4曲」「太鼓1曲」「篠笛2曲」です。どの楽器についてもまんべんなく掲載され、取り上げる楽器の指導によって偏りがないようによく配慮がなされています。
- ・姿勢とかまえ方について、全体像だけではなく、演奏者の視点から楽器を眺めた写真が掲載されています。実際に楽器を演奏する際に写真を手掛かりに、生徒が自ら学習に取り組むことができるようよく配慮がなされています。
- ・演奏している手元をアップにし、いろいろな角度から確認することができます。動画に合わせて解説を加えているため、よりわかりやすくなります。さらに、生徒が陥りやすい誤った奏法について、注意喚起の解説がなされています。基本的な奏法についてスモールステップで学ぶことができるよう、よく配慮がなされています。
- ・和楽器と現代の楽器を組み込んだドラムセットが取り上げ、斬新な取組の紹介がされています。伝統音楽と現代曲とを融合させた、新しい音楽について、考えを広げることができるようよく配慮されています。

・何かご意見はありますか。

【教育委員】

- ・器楽では男女ともに楽器を演奏している写真が多く扱われている。男性だから、女性だからという固定概念がないですね。

【教育委員】

- ・カリキュラムの関係だと思いますが、2.3上、2.3下なのですね。

【教育委員】

- ・すべての楽曲を行うことは難しいが、二次元コードを使って自分で聞くことができるのがいいですね。

【教育委員】

- ・単元ではなく題材なので、共通教材に示してあるもの以外は、どの題材を扱うかを選べます。そういうことから二次元コードがあるのはいいですね。

【教育員】

- ・表紙をみるとイラストになっていて、生徒が興味・関心をもちやすいと思います。

○保健体育は「東京書籍」です。

- ・令和2年度の教科書と比べて、新型コロナに関する内容やオリンピックに関する内容が一新されています。また、熱中症についても充実しています。今の社会に合った情報が掲載されています。
- ・知識及び技能が習得できるようなデジタルコンテンツが毎時間位置付いています。デジタルコンテンツの内容に、導入、知識及び技能、発展、他教科とのつながりなどがあり、個別最適な学びや協働的な学びにつながっています。
- ・指導過程が「みつける」「学習課題」「課題の解決」「?（知識・技能の習得）」「活用する」「広げる」の6つのまとまりにわけられています。「みつける」では、日常経験や小学校で学習したことなどを基に、学習課題をつかむようになっています。それを受けて「学習課題」が端的に示され、本時学ぶことを確認できるようになっています。「課題の解決」では、キーワードが示されており、解決への見通しをもてるようになっています。「?」にある問いかけにより、資料を参考にして考えたり、表現したりしながら、知識を習得するようになっています。「活用する」の問いかけでは、習得した知識を活用して、深く考えられるようになっています。そして「広げる」では、学習したことを自分の生活にあてはめたり、さらに深く調べたりするようになっています。

○技術・家庭（技術分野）は「開隆堂」です。

- ・身近な製品を例に挙げて、技術の役割、環境や経済性、科学や最適化、技術の見方・考え方や学習の流れ、さらには問題解決の流れが示され、これから技術分野を学んでいく生徒が、どのように学習を進めていくのかを理解し、主体的に学習に取り組めるよう配慮されています。
- ・学習を進める上で、その内容に関わる技術の見方・考え方を十分に働かせることができるようによく配慮されています。
- ・ほとんどのページに二次元コードが備わっています。画面の配列もわかりやすく、より実践的な学びを深めることができるようよく配慮されています。

○技術・家庭（家庭分野）

- ・家庭分野の学びを「自立し ともに支えあう生活へ」ととらえ、A、B、Cの各領域と選択、実習例、発展の内容を示して、地域や学校によって順番や関連を工夫して学びます。また、単位時間ごとに自分の生活と関わらせた発問を示すことで、生徒の興味・関心から学習課題を設定し、「考えてみよう」「話し合ってみよう」等で他者との協働的な学びにつながるように工夫され、全10種類の実践例を示して実践しやすいようにしています。

- ・多様な家族関係の紹介や参考資料として身近な社会人の声の紹介も掲載されており、多様な家族観について学べるようよく配慮されています。
- ・キャッシュレス決済について「話し合ってみよう」となげかけたり、このページのように商品の情報をどう扱うか、身近な例を使って話し合う活動を設定したりして主体的に学べるようよく配慮されています。

・何かご意見はありますか。

【教育委員】

- ・家庭では和服の文化について詳しく取り扱っています。帯の結び方が詳しく書いてあるのがいいです。

【教育委員】

- ・男性の帯の結び方もあるのですか。

【教育委員】

- ・あります。簡単なのですが、知らない人が多いです。ぜひ扱ってほしいです。

○外国語は「三省堂」です。

- ・英文の概要・要点を捉え、自分の考えを表現できる設問 Listen & Read が設定されているため、新しい文法事項を学んだり、活用したりしながら、概要や要点を捉える力も身に付くようになっていきます。Talk や Write では、読んだことについて話したり、書いたりする設問が設定されているため、さまざまな題材について書かれた英文を読んで自分の考えを表現できるようになっており、大変よく配慮されています。
- ・二次元コードを活用し、知識及び技能の定着を図ることができるようになっていきます。二次元コードを使用すると、教科書本文のアニメーションや、音声、Script の確認、単語の練習や問題、文法の解説動画も視聴することができます。また、こちらの二次元コードを使用することによって、イラストを活用した基本本文の練習を行うことができます。授業においては、全体で音読をして基本本文を定着させる活動や、ペアで、日本語を英語にする活動を行うなど、多くのバリエーションで活用し、協働的な学びを行うことが可能です。
- ・自分で取り組んだ学習については、足跡が残るようになっていきます。単語の練習や単語のクイズにおいても同じ機能を、繰り返し使用できます。生徒が、自分で学びを実感することができるようになっており、自ら学ぶ姿勢をつくる一助となっていることから、大変よく配慮されています。

○特別の教科 道徳（道徳）は、「日本文教出版」です。

- ・複数の教材とコラムでユニットを編成しています。巻頭に「道徳科での学びを始めよう！」のページを各学年で位置付け、3つのステップで記載し、系統的に伸ばしたい力が明確に示されています。また、ミニ教材が設けられています。教材の最後の「考えよう」には、個で考えたことをもとに、仲間と考え議論し、深めるための発問を位置付け、「自分にプラスワン」では、自分を見つめ考える発問が位置付けられています。
- ・「いじめって何?」「お互いを認め合うために」「怒りの感情との付き合い方」など多様なコラムが組み合わせられています。また、学年の発達に応じて、発展的な内容が取り扱われており、「いじめの問題」を多面的、多角的に捉えて考えることができるようによく配慮されています。

・3年間を通して、ふるさとに誇りと愛着をもち、ふるさとの一員として、考えが広がるようによく配慮されています。

・何かご意見がありますか。

【教育委員】

・今年度の教科書と発行者が変わったところがありますか。

【学校教育課長】

・数学、美術、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）について、発行者が変わります。

【教育委員】

・他の地区はどうですか。

【学校教育課長】

・他地区の採択結果がまだ公開されておらずわかりません。

【教育委員】

・すごく詳しい調査をしていただいていると感じました。今のこどもの学びに即したことを考えたいので調査していただいているということがわかります。

【教育長】

・教科書をご覧いただきまして、説明をさせていただきました。その他ご意見はございませんでしょうか。ご質問がないようですので、議案第11号を承認してよろしいでしょうか。

(承認)

・それでは、議案第11号を承認させていただきます。